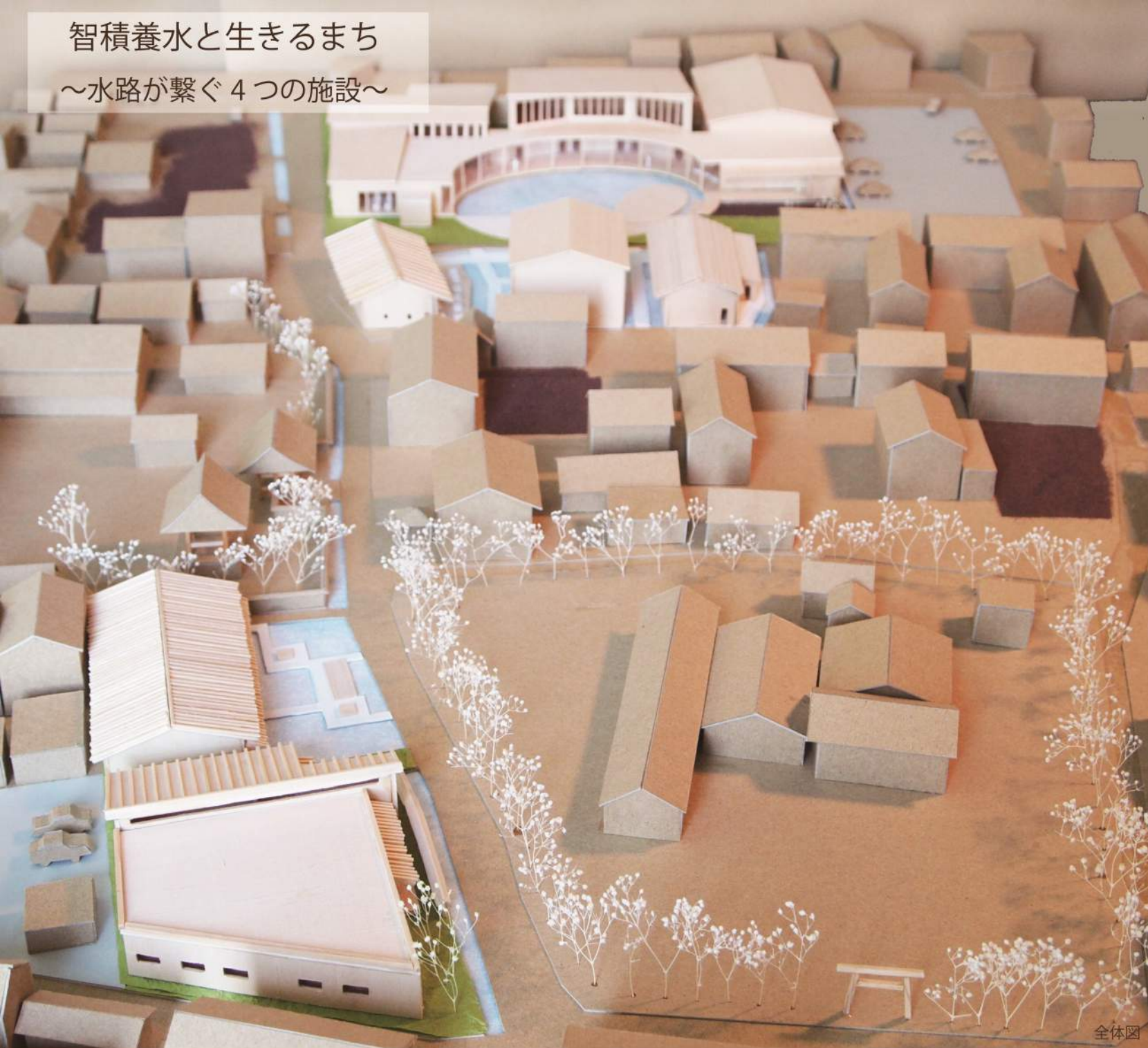


# 智積養水と生きるまち

～水路が繋ぐ4つの施設～







敷地条件：第一種住居地域，容積率 200%  
 アクセス：近鉄湯の山線「桜駅」から徒歩3分  
 特徴：名水百選に選定されている「智積養水」が流れる  
 その他：「手づくり郷土賞」、「四日市市都市景観賞」を受賞

①智積養水記念公園

②西勝寺

③椿岸神社

【交通状況】

- 車が頻繁に通る道路 (■)
- 歩行者用の道が整備された道路 (■)
- 駅からの歩行者のルート (■)

・智積養水路の位置

- アクセスの良さ
- まちのランドマークである寺の存在
- 文化財のある神社の存在

以上の点から、計画敷地を選定した。



配置図 1/2000

concept  
 「智積養水」を活かしたまちづくり  
 —智積養水に導かれて4つの施設を巡る—

「智積養水」

- ・隣の菟野から湧き出る雪解け水。その水を智積町に引き入れて水田約50haを灌漑している。
- ・智積養水路の全長は1784m、幅は1~2mである。
- ・1985年、環境省選定の「名水百選」に選定されている美しい水である。
- ・現在、住民は鯉の放流と水路清掃を行うことで名水を守っている。



i) このまちは観光資源を活かし、まちに賑わいをもたらす可能性を秘めている。資源の魅力をより高め、外部へアピールする。

- 情報を伝える → 智積回廊美術館 (■)
- 存在感を示す → 養水広場 (■)
- 恩恵を享受する → 養水路レストラン (■)
- まちを歩いてもらう → 智積休憩所 (■)

ii) 資源の魅力を住民が再認識し、守り受け継いでいく。

- 存在感を示す → 養水広場 (■)
- コミュニティ創出の場をつくる → 養水公園 (■)
- 地域に根差す → 智積公会所 (■)

iii) まちの抱える問題に対応する。  
 この地区の住民は、約26%が65歳以上の高齢者である。  
 様々なところで高齢化による影響が出ている。



智積養水の水路清掃  
 住民は定期的な水路清掃を行うことで、美しい水を守ってきた。年に1回の西勝寺前の清掃は子どもから大人まで参加する。しかし、年に6回の源泉からの水路清掃は自治会のみで行っている。若い世代の関心は希薄であると言える。

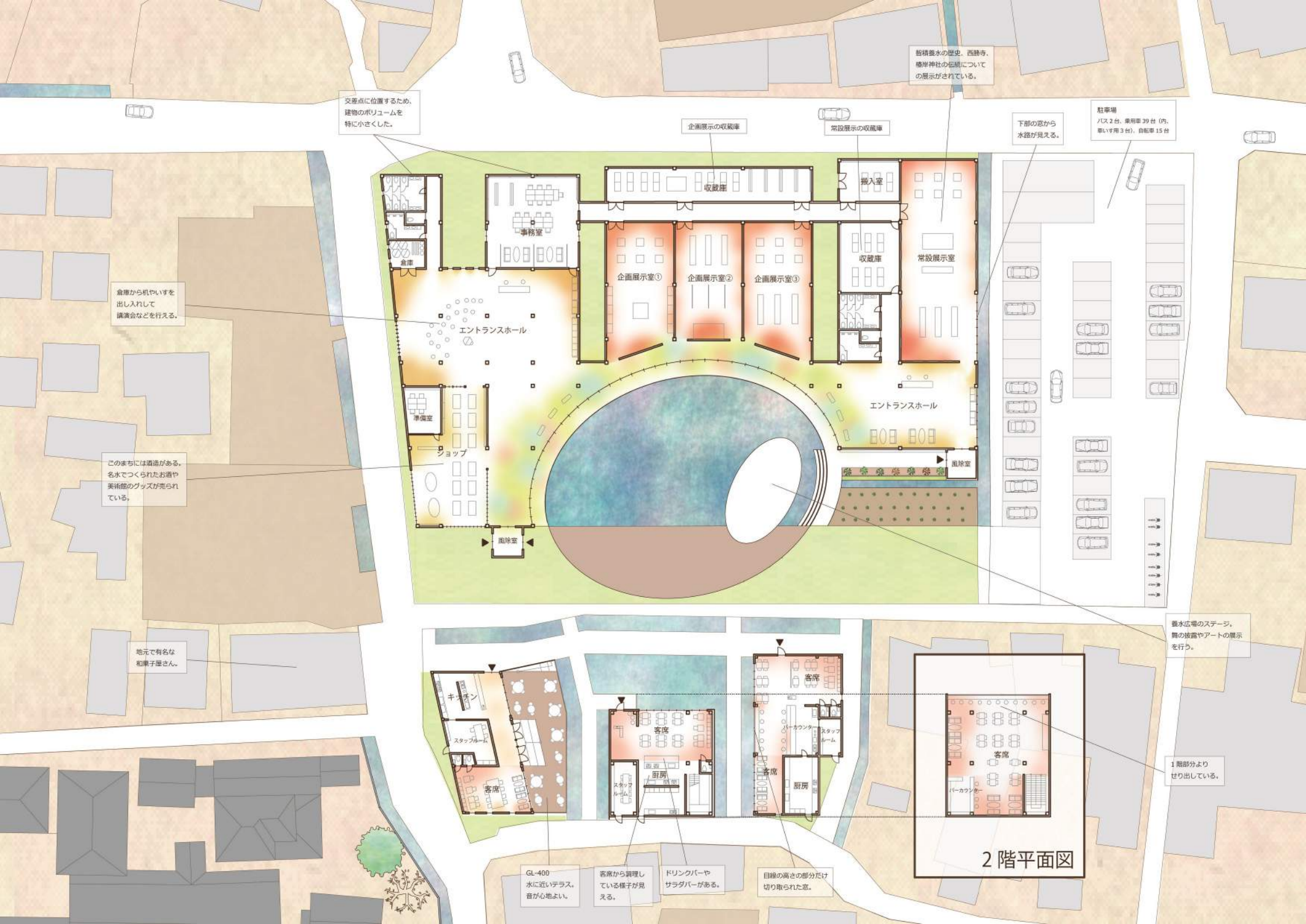


椿岸神社の伝統継承  
 毎年この神社では、獅子舞奉納の大四日市祭りが行われる。獅子舞は「四日市市指定有形民俗文化財」とされ、十三段からなる舞は「四日市市指定無形民俗文化財」とされている。近年、その舞を踊る子ども役の後継者不足に悩んでいる。

農地の荒廃  
 智積養水の恵みを受け、このまちには多くの田畑がある。しかし、高齢化・後継者不足により、耕作を放棄される農地が始め、問題となっている。







交差点に位置するため、  
建物のボリュームを  
特に小さくした。

企画展示の収蔵庫

常設展示の収蔵庫

新橋渡水の歴史、西詰寺、  
橋岸神社の伝説について  
の展示がされている。

下部の窓から  
水路が見える。

駐車場  
バス2台、乗用車39台（内、  
車いす用3台）、自転車15台

倉庫から机や椅子を  
出し入れして  
講演会などを行える。

このまちには酒造がある。  
名水でつくられたお酒や  
美術館のグッズが売られて  
いる。

地元で有名な  
和菓子屋さん。

養水広場のステージ。  
舞の披露やアートの展示  
を行う。

1階部分より  
せり出している。

GL-400  
水に近いテラス。  
音が心地よい。

客席から調理し  
ている様子が見  
える。

ドリンクバーや  
サラダバーがある。

目線の高さの部分だけ  
切り取られた意。

2階平面図





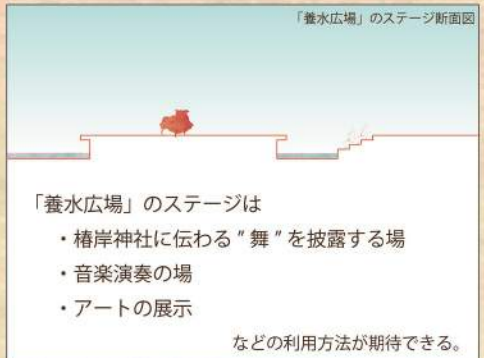
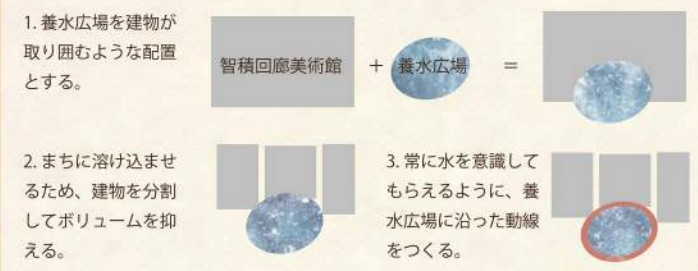




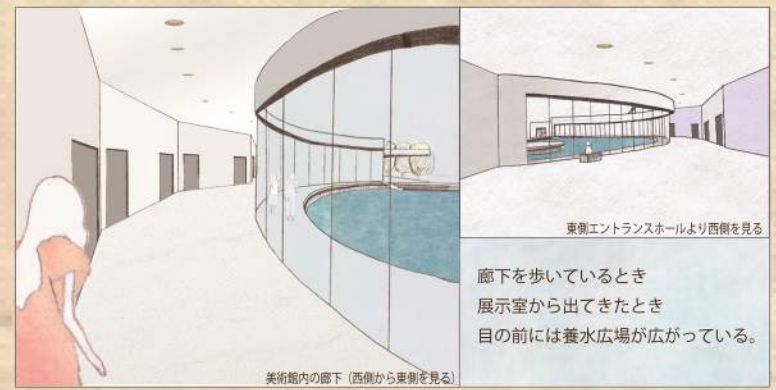
まちを知る「智積回廊美術館」× まちのシンボル「養水広場」



■ダイアグラム

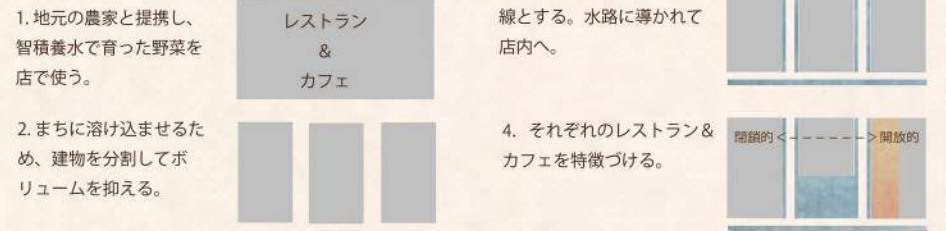


施設名	室名	面積 (㎡)
美術館	常設展示室	260
	企画展示室①	150
	企画展示室②	135
	企画展示室③	150
	エントランスホール (西側)	363
	エントランスホール (東側)	198
	ショップ	200
	風除室	32
	事務室	144
	収蔵庫	188
	搬入室	42
	倉庫	28
	トイレ	92
	廊下	310
計		2292



まちの恵み「養水路レストラン」

■ダイアグラム



1. 西側にある「テラスカフェ」

テラス席が特徴のこのカフェでは、軽食を食べたり、テイクアウトをしたり、持ってきたお弁当を食べたりすることができる。

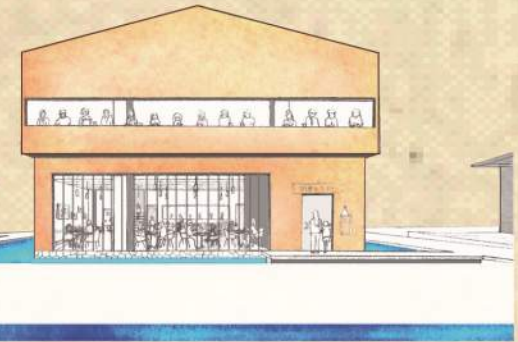


施設名	室名	面積 (㎡)
カフェ	客席(24席)	52
	テラス客席(32席)	116
	キッチン	36
	スタッフルーム	29
	トイレ	4
	廊下	34
計		271

2. 中央にある「水上レストラン」

3つの飲食店の中で唯一、3面水に接している。まるで水上に浮かんでいるような空間である。1階とせり出した2階からは異なる風景が楽しめる。家族連れも訪れやすい、最も大きなレストランである。

施設名	室名	面積 (㎡)
レストラン	1階客席(32席)	63
	2階客席(67席)	177
	厨房	45
	スタッフルーム	20
	トイレ	2
	バーカウンター	17
	その他	40
計		364



3. 東側にある「flow cafe」

落ち着いた雰囲気イタリアンレストラン。水の流れを眺めながら食事することができる。



施設名	室名	面積 (㎡)
レストラン	1階客席(54席)	120
	バーカウンター	23
	厨房	33
	スタッフルーム	13
	トイレ	4
	その他	10
計		203

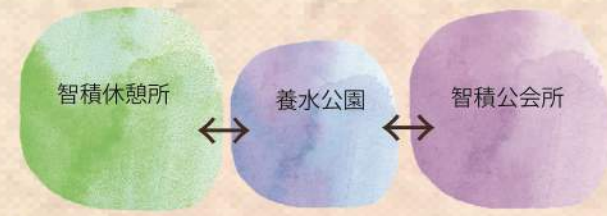


まち歩きのための「智積休憩所」× コミュニティ創出の場「養水公園」

施設名	室名	面積 (㎡)
休憩所	畳の間	100
	休憩コーナー	45
	押入れ	2
	トイレ	28
	ウッドデッキ	43
	廊下	75
	計	293



■ダイアグラム



養水公園を通じて住民と観光客の境界を曖昧にする。

地域に根差す「智積公会所」

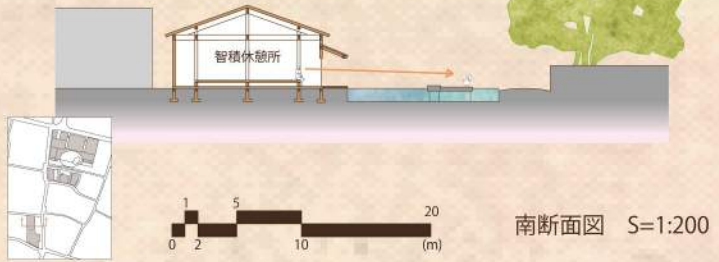
既存の智積公会所を改築。  
もともと2階建てだったが、平屋建てにすることで高齢者も使いやすくなった。



Before

観光客が訪れた時に休憩する施設。  
また、住民が公会所と兼ねて使用する施設。

「養水公園」で遊ぶ子どもたちを「智積休憩所」から見守ることができる。



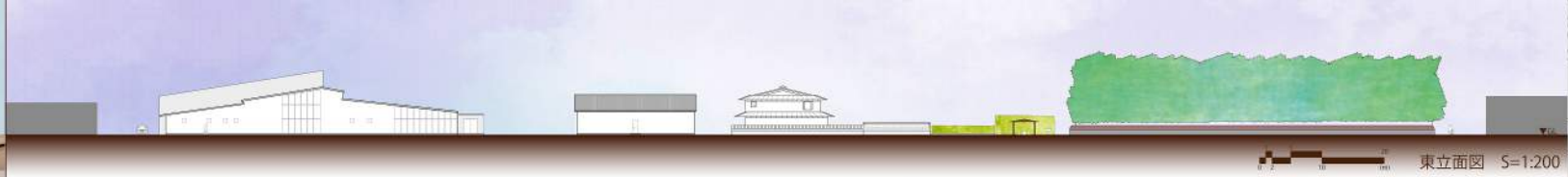
After

施設名	室名	面積 (㎡)
公会所	集会室	140
	研修室①	48
	研修室②	39
	事務室	40
	調理室	30
	オープンスペース	28
	玄関	15
	ベランダ	25
	トイレ	15
	押入れ	5
計	385	

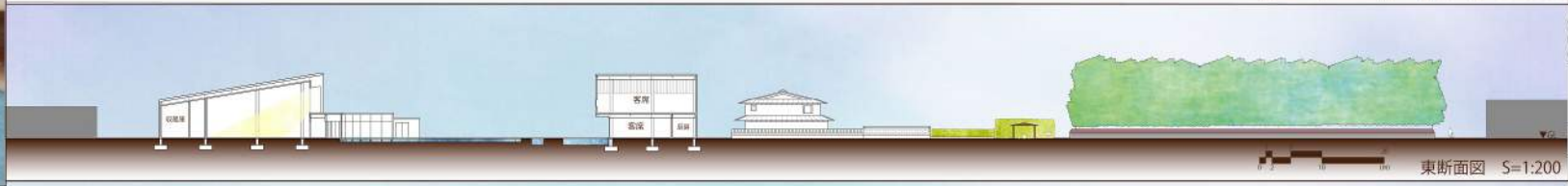




智積川源流の中心を流す水辺広場



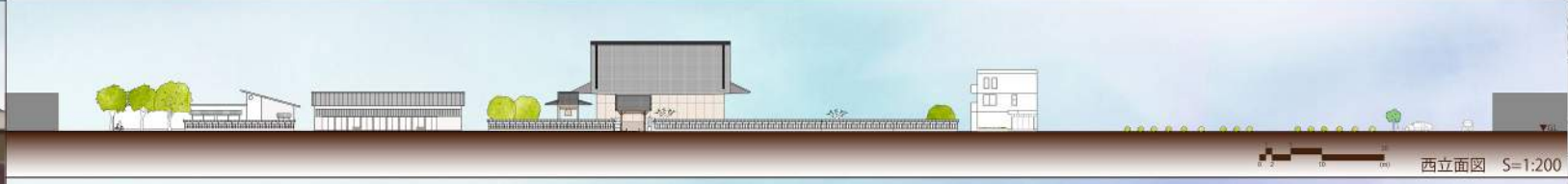
東立面図 S=1:200



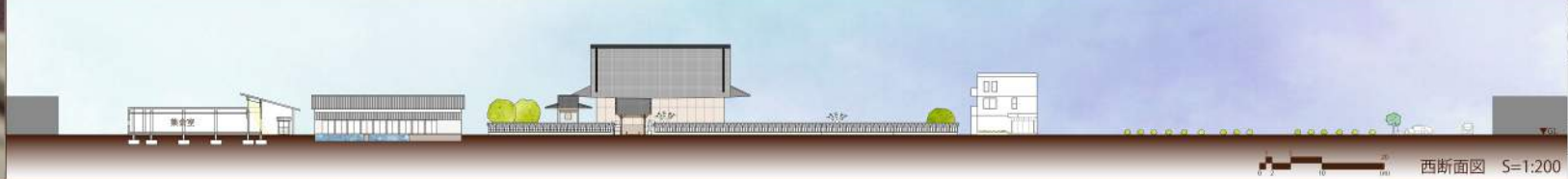
東断面図 S=1:200



中央広場から智積川の源流を眺める



西立面図 S=1:200



西断面図 S=1:200

